

# よりよい学びをつくる国語授業

埼玉大学教育学部附属小学校  
国語科 波戸内 友基



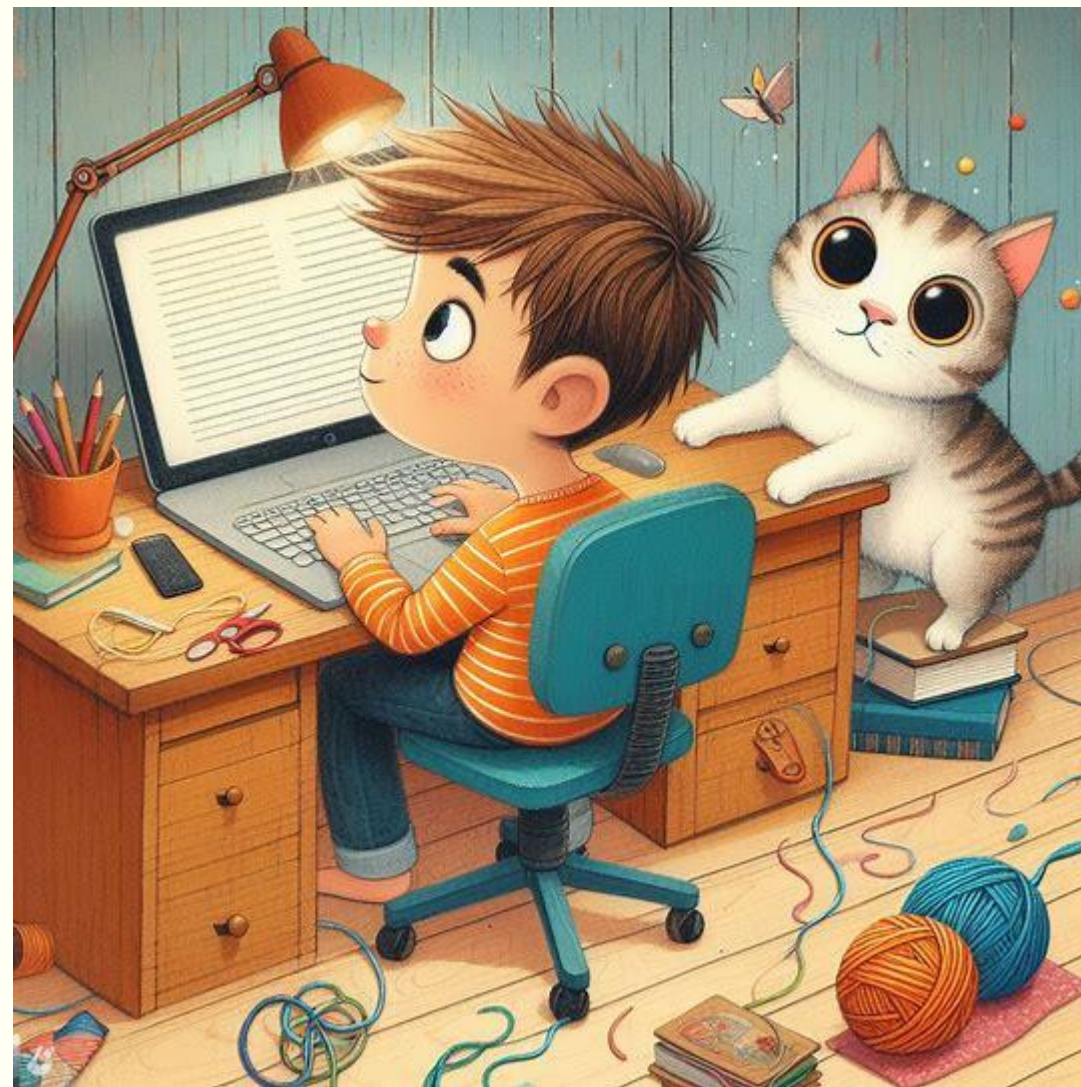
# 環境 × アプローチ

教え子が  
(だいぶ美化して)  
描いてくれました！



# 学びとは？

---



※Image creatorで作成



# 波戸内の思う夢のような主体的な子

段落数	何を書いてあるか
1段落	時間について 筆者の考え
2段落	時計の時間と心の時間がどうい う物か 問い
3段落	具体例
4段落	実験Ⅰ（時計の時間と心の時間の進み方の変化）
5段落	実験Ⅱ（時計の時間と心の時間の感じ方と環境）
6段落	それぞれに違う感覚で時間と向き合っている
7段落	ここまでの結論
8段落	7段落まで読んで「こうではないですか？」という質問 筆者の考え（答え）



☆水無月十九日（月）

今日は決めていたゴールまで行けずあまり良くなかったです。

まず今日のゴールが前に決めていた筆者の考えを段落ごとに比較しようとしたら二人でまとめ方の意見が食い違ってしまったので少しそこに時間がかかってしまいました。原因はそこにもあるし、第三者からの見て私たちが伝えたいことが伝わるかななどをあまり考えられなかったのであまり良くなかったです。ですが今日すべてが悪いわけではなく良いところはこの文章について調べたときにはじめ、中、終わりで比べるか段落で比べるかと考えが分かれてでもどっちも作ってよいんじゃないかとなり一回見てもらってどっちがわかりやすいかを聞いてうまくできればよいです。段落に何が書いてあるかを表にしていってけれどもはじめ、中、終わりがわからないからわかりやすくしようというように発表のためにしました。このように第三者からの目線で見れたので良かったです。

★★★★☆4/5

波戸内先生

このように調べたことをまとめていますが今日のゴールまでがいつもたどり着いていなくて少し高いゴールを持ちすぎてダメですか？あまり上を見すぎるとだめですか？なんか少しきになったので聞きました。答えにくかったらいいんですけど、、、。



いいね!



コメント



共有

これに最初にいいね! しましょう



コメントを入力





# 波戸内の思う学び（と言っても、受け売り多し）

---

前



差分

自分だけの具体論  
×抽象的な言葉

後



+「よくなりたい」

# 波戸内の思う「国語」



無自覚を  
自覚する時間

そして無自覚へ

国語にならないものなどない

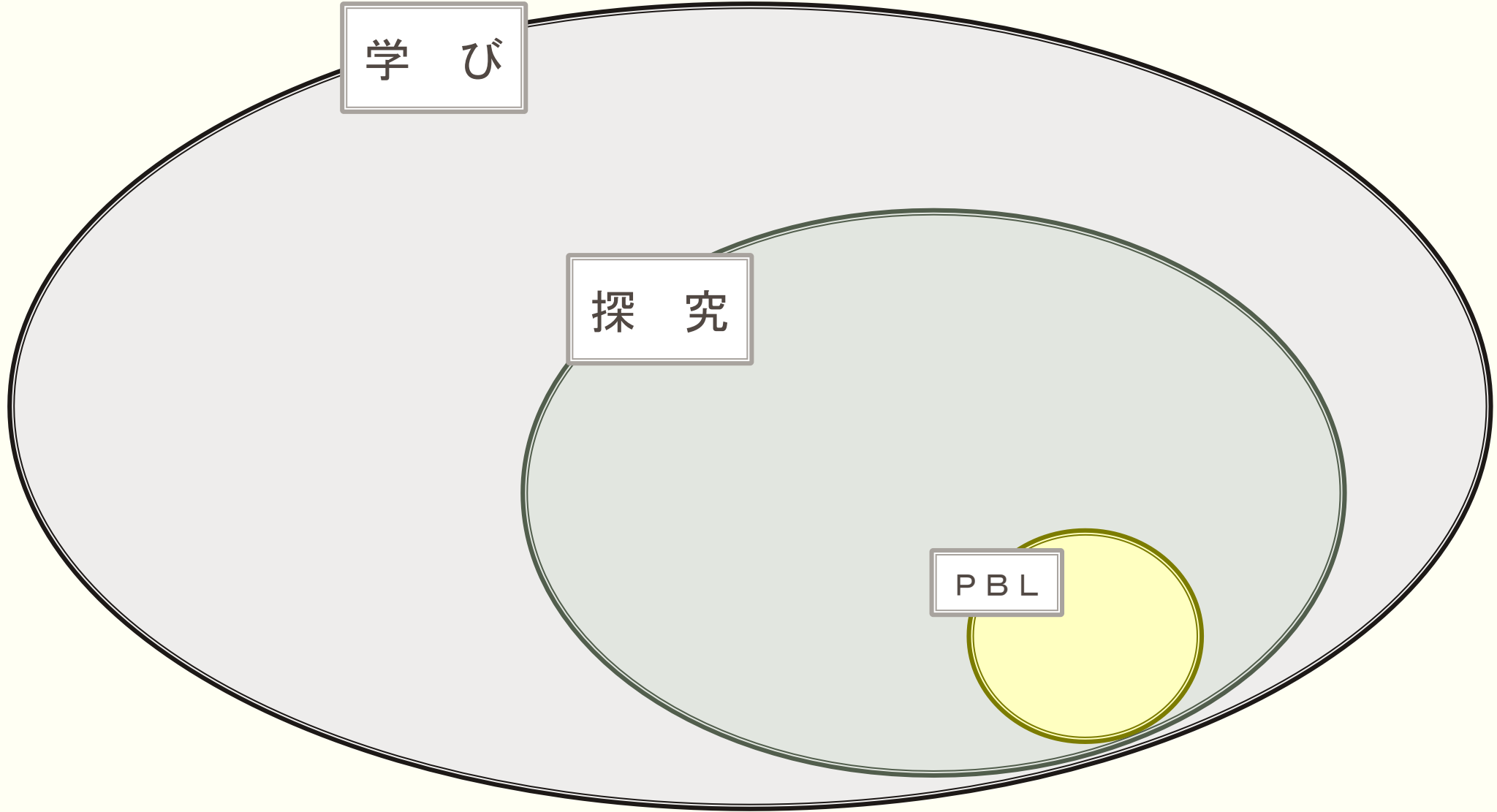
# P B L

---

学 び

探 究

P B L



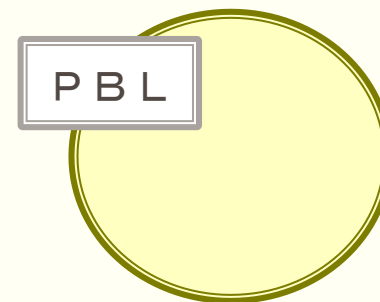


P B L

---

Project Based Learning

Problem Based Learning



# 実現したい願い

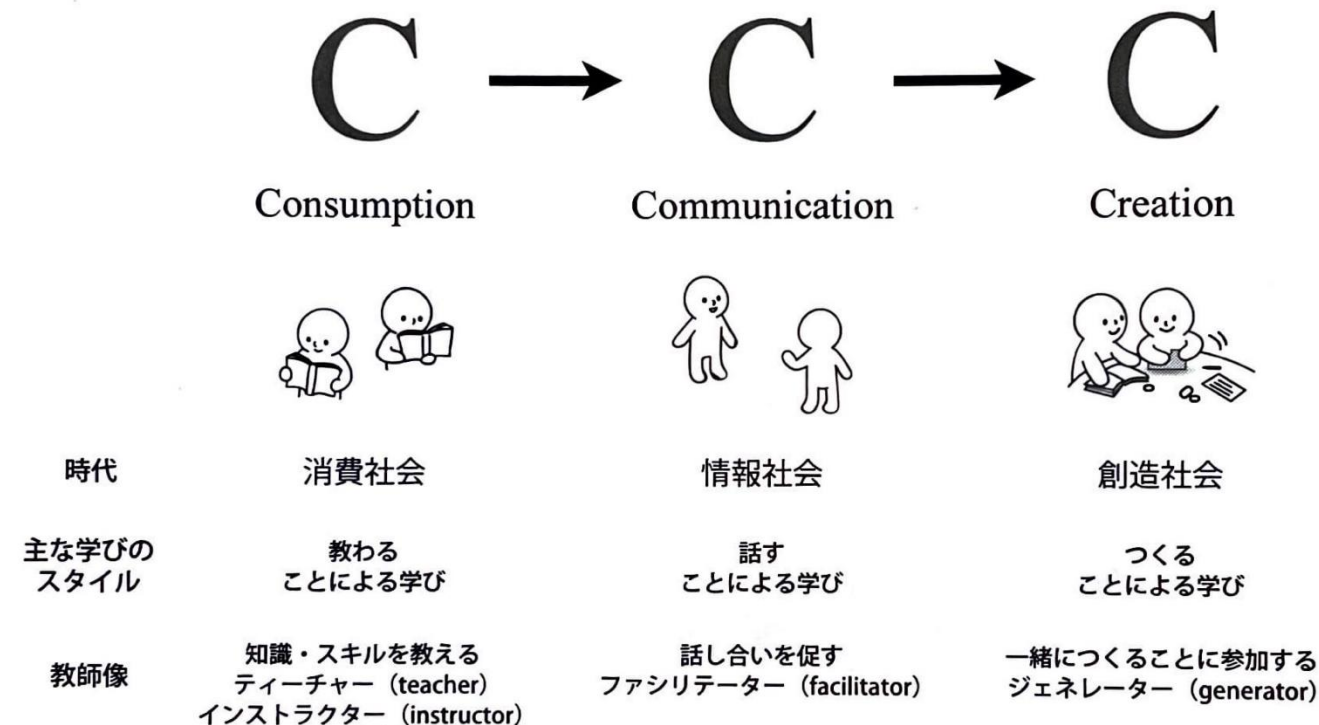


図1-11: 3つのCによる社会の変化と、学びの支援者の役割の変化

参照：市川力，井庭崇『ジェネレーター 学びと活動の生成』（2022）学事出版

幸せに生きてほしい  
▽  
よりよい未来を生きる  
▽  
変化 納得解  
▽

# 実現したい願い

子供達がよりよい未来をつくる

学校でよりよい学びをつくる経験

Well-being

納得解

変化

自己決定

責任

納得



??



# 実現したい願い

---

---

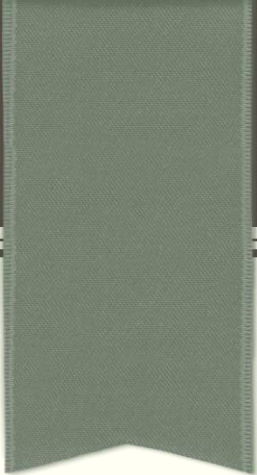


# 実現したい願い

---

---





---

# 実践までの2年間

「～ねばならぬ」からの脱出

---



# ①「何のために学ぼうか」を一緒に

卯月十八日

物語

登場人物

お話

主人公がいる

作者

はなのみち

大きながぶ

おむすびころりん

やくそく

くじらぐも

すうとすうと大すきだよ

たぬきの糸車

ふきのとう

スイミー

お手紙

ミリーのすてきなぼうし

わたしはおねえさん

おかゆのおなべ

スーホの白い馬

どんなかが

音読

お話を作れた

本がすきになった

言葉を教えた

気持ちを教えた

詩を作った

行動を読めた

お話の中に

入った。

会話をよめた。

なんでで。

見つけた。

「もったい」



自分のつけたい力を  
考えて読む。

# ①「何を学ぼうか」を一緒に

① 課 どんな「はてな」が見つかる  
だろう。

国語の力（読んでさがす力）

キツツキの「はてな」

雨の日

かたつむり、あまがえるは

なぜとも

なぜ目をつむっているのにかかる？

なぜ目は目をあげ、

なぜみは目をつむる。

あけたんこいさ

なぜ空を見上げた？

なぜ雨なのにでかけた？

なんで「おとや」を開いた？

四分音符分？

何でオープンの日に

来なかった？

何で「とくとく」きぼたソフはながたり？

どうして「ただ」にしたの？

どうして明日はないかも？

なぜ「さき」が「番」？

つまれる、て何？

ブナの音「はなせはし」って、

キツツキは「ど」に「る」？

なぜ「音」が出せるの？

○ できたて？

なんて字をかける？

○ たちほすみれ？

○ どうぞどうぞ？

100% 何？

# ①「何を学ぼうか」を一緒に

卯月二十六日

課なぜ、へんな表げんが使われて  
いるのじゃつ。

国語の力へ考えてそうぞうして分かるか

100 リル できたて

どろどろどろ とくとくと

① ふな 命をけし...  
ばのん なんだか分かりにくい

「まかく分かる ↓ えられる」

四分音符分り 100 リル

べつの世界

「どうぞ、こちらへ」

ふなの森にやてきた  
フナの音

そうぞう  
できる

② 雨 うらとり

できたて 音つきのけし

ただ

ただ

大まかい  
たちほすみれ

子ども

草の突 おろきとして

そこら中のいろんを音が  
いちどに

ずうと

として いふか  
いふ様ち

← いたすて  
わくわく

あけてくる

つまれる

絵



## ②「何をして」学ぶかをゆだねる

皐月二日

① へんな言葉

そうぞうでできる。

② どうして「おとや」をひらいた？

文章 (キコフキの言葉行どう)

③ ど、ちがすてキ。

フコギ、ねずみ音のようす

課 何をヤ、たらう、もつと「カがつくだらう？」

国語の力へ ※自分で考えるよ

キコフキ)

④ 自分で新しい「はてな」

○ キコフキのそうぞうをうやす。

○ フコギの語を作らう

○ お話を紙に絵と文でまとめる。

キコフキ) じやない

自分でお話を作る。

○ べつの本を読んで「はてな」

### ③ 学習計画をゆだねる

白 平 月 十 七 日

課 どののはてなをやられば、かがつくのだらうつ。

国語の力ももんをえらぶ力

どんなはてながかがつくつ。

①	11	⑥	14	⑪	7	⑯	2	⑳	13
②	3	⑦	3	⑫	7	⑰	3	㉑	2
③	6	⑧	0	⑬	10	⑱	5	㉒	8
④	7	⑨	9	⑭	12	⑲	0	㉓	7
⑤	11	⑩	6	⑮	3	㉔	4	㉕	13

よくない (☹️)

国語じゃない

聞いてもかがつかない

かんたんすぎ

かがつかない

読めは分かる

読んでも考えてもできない。

良い (😊)

読んで考えて分かる。

かがつく

こまを楽しむ 安藤 正樹 文

名前)

読みを、自分達だけの課題に挑戦しよう。

三年一組の『きもんとはてな』

- ①なぜ、昔からこまは世界中で行われてきたの？
- ②なぜ、はやぶらぎのように色がかわるの？
- ③なぜ、むちでたたいて力を伝えられるの？
- ④なぜ、工夫がつかさねられてきたの？
- ⑤さかたちこまは、なぜさかさまになるの？
- ⑥安藤さんはなぜ「こまを楽しむ」という題名にしたの？
- ⑦安藤さんはなぜ、この文章（こまの楽しさやしゅるい）を書いたの？
- ⑧なぜ、鳴りこまは、中が空っぽなの？
- ⑨なぜ、日本はこまのしゅるいが一番多いの？
- ⑩こまはなぜ、たくさんしゅるいがあるの？
- ⑪どんな楽しみ方があるの？
- ⑫なぜ、音がたついてもこまを回したいという人がいるの？
- ⑬どうやってこんなこまを作っているの？
- ⑭なぜ、昔からこまは使われてきたの？
- ⑮人々は、なんでこんな工夫重ねて使う人を楽しませようとするのか？
- ⑯どうして面白いこまを作ろうとしているのだらう？
- ⑰なぜ、ぜんぶ話すしゅんばんが同じなの？
- ⑱曲こまは鉄しんなのはなぜ？
- ⑲なぜ、このこまもつくりが同じなの？
- ⑳どうして「まの作りま」で書いているの？
- ㉑どんな気持ちで安藤さんは書いたのだらう？
- ㉒写真があるのはなぜだらう？
- ㉓どうしてこんなにしゅるいがあるの？
- ㉔鳴りこまは本当に鳴るの？
- ㉕すくりは遊ぶのむすかしくないの？（小さな穴に入るの？）





# ④「身につけたい力」をゆだねる

ふみつき  
文月七日(セタ)

◇物語で学んだこと

◎はてなまさがす ↓あはいた▽。

◎言葉の理由

◎場面でくうべた。

◎じたこと、話したこと

←「も」と「で」きかな?

ドア?

まごになだ?

まいごのかぎ

ひろつ?

あがる  
は散行する?  
女の子?

国語の力へ人物のへんかを讀む

自分のほたカ

たんげんのめあて

はてな ↓場面 ↓? 「も」と

読みをくふうして感相心をもつ▽。

①初めて読んだ感想

「ん」「でまこと」

こんなことに

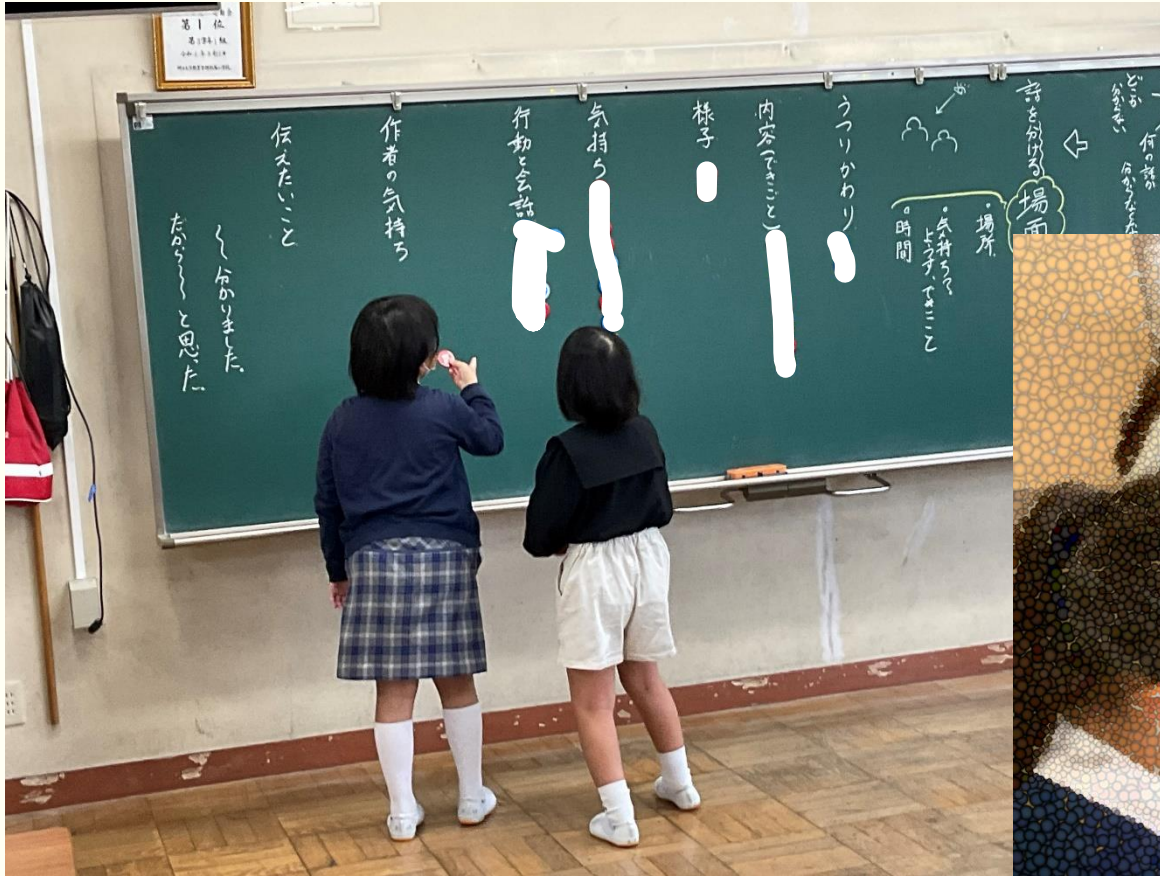
「自分とくらべて」

注目して書いてみよう。

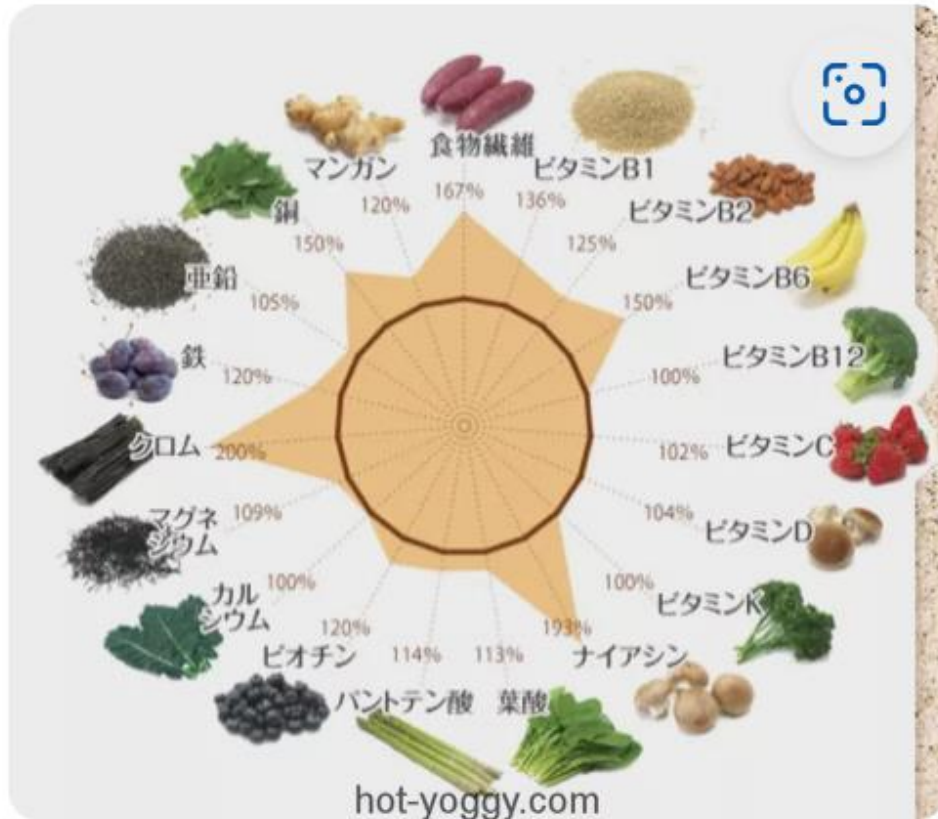
②はてな?



## ⑤「場所」「相手」「方法」をゆだねる



# 立ちはだかる壁① 大豆料理を6時間調べ続ける男の子の登場



今日は、大豆にどんな栄養があってどんな料理があるか調べて大豆は、生活に欠かせないわかりました。





## 立ちはだかる壁② 過去一盛り上がらなかった授業

The image shows a chalkboard with handwritten notes in white and yellow. The notes are organized into several sections:

- Top Right:** "一つの花" (One Flower) and "今西" (Imai).
- Middle Right:** "まず音読" (First read aloud), "それからみんなで" (Then everyone), "グループ決めて" (Decide group), "個人もあり" (Individual also). Below this is "今までの物語と" (Story so far) and a circled "同じ" (Same).
- Center:** A mind map with "想像イメージ" (Imagination/Imagery) at the top, connected to "段落" (Paragraph), "場面" (Scene), "作者の気持ち" (Author's feelings), "つなげる" (Connect), "変化" (Change), "なぜ" (Why), and "人物" (Character). "変化" has a yellow triangle above it with "かき混ぜ" (Mix) written next to it. "つなげる" has a yellow circle around it. "作者の気持ち" has a yellow circle around it. "人物" has a yellow circle around it and "どんな人" (What kind of person) written below it. "想像イメージ" has a yellow circle around it and "あらすじ" (Synopsis) written next to it.
- Left Side:** "自分の物語につ" (To one's own story), "レベルUP" (Level Up), "今までのことをつなげる" (Connect what we've done so far), "振り下げる" (Lower), "つけ加える" (Add), "話し分せ" (Share), and "自分は何をするか" (What will I do?).

Below the chalkboard is a large thought bubble containing the text:

それっぽいことは言うが、つまらなさそうな雰囲気を感じる。

## 波戸内の驕り

---

---



授業つまらなかったか。読むことそんなにやりたくなかった？

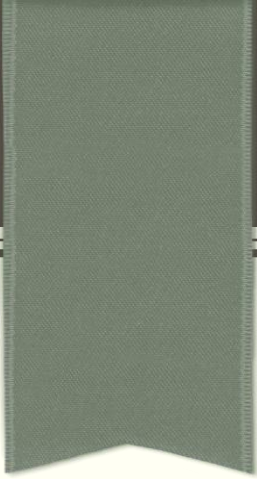
そうじゃないよ！  
早くやらせてほしかったんだよ！  
何が学べるかはやりながら考えるから！



たどり着いた（現時点での）答え

---

環境 × アプローチ



---

# 実践 4年生「ごんぎつね」

「よりよく読む」

---



# 何をしようかな

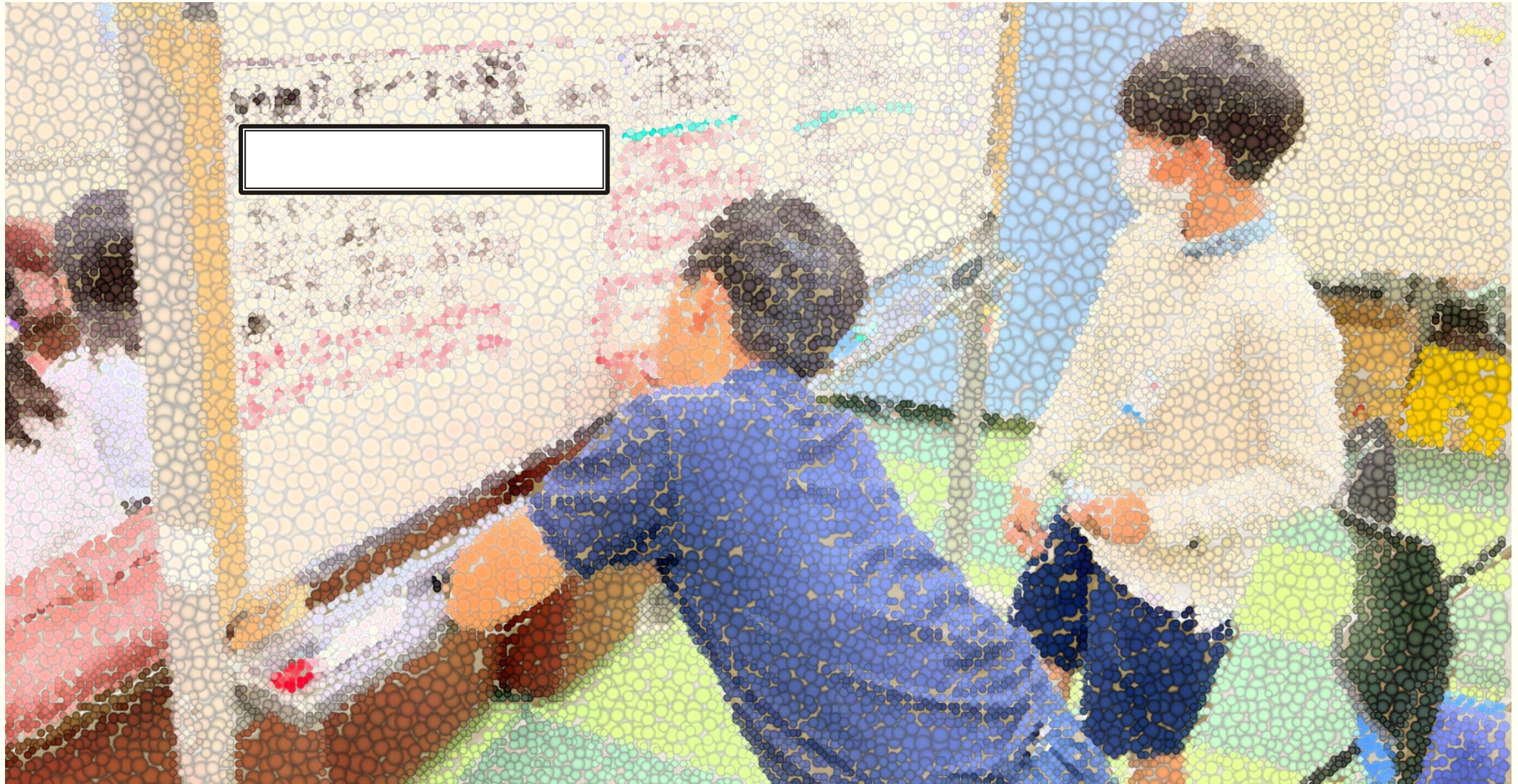
---





# 別の部屋行ってきます

---



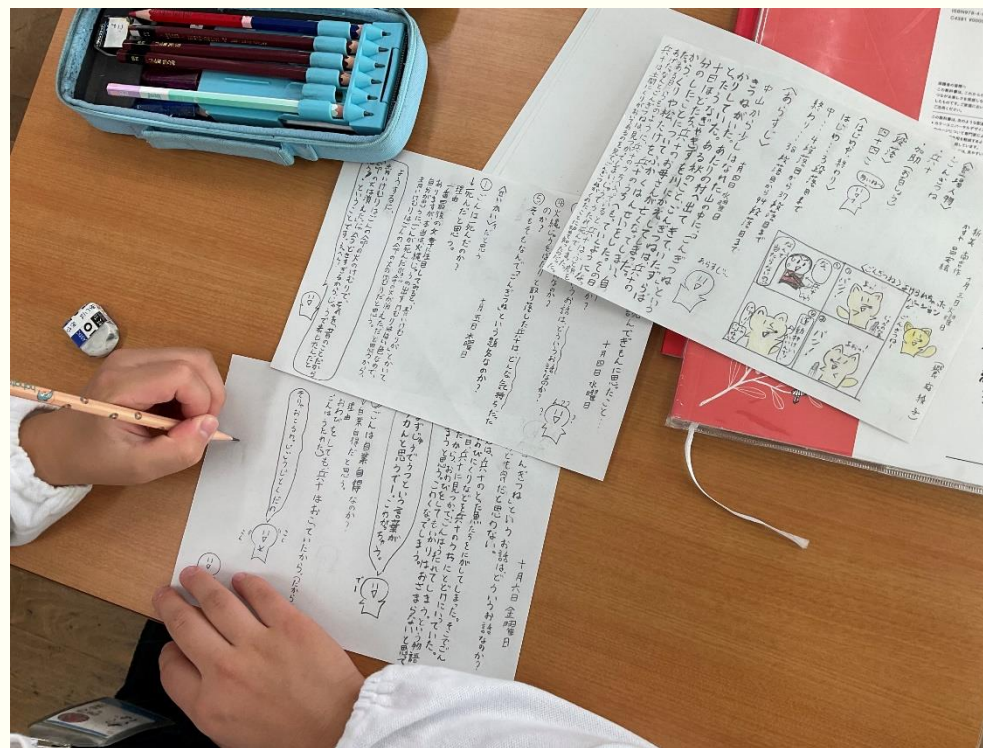
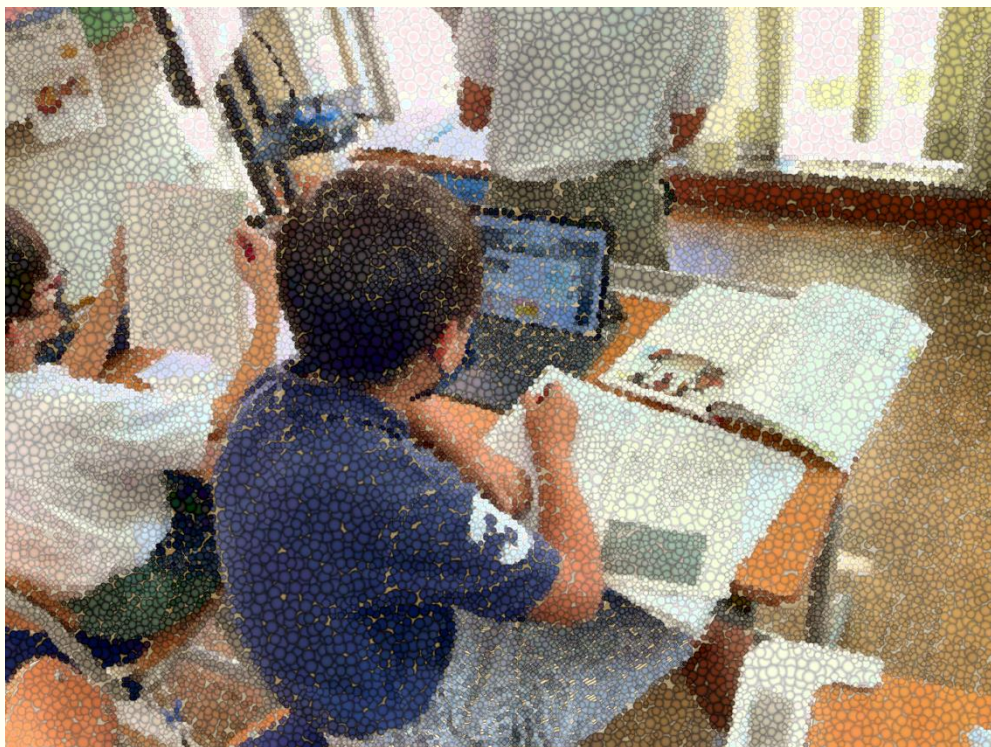






# あと10時間ほしい

---











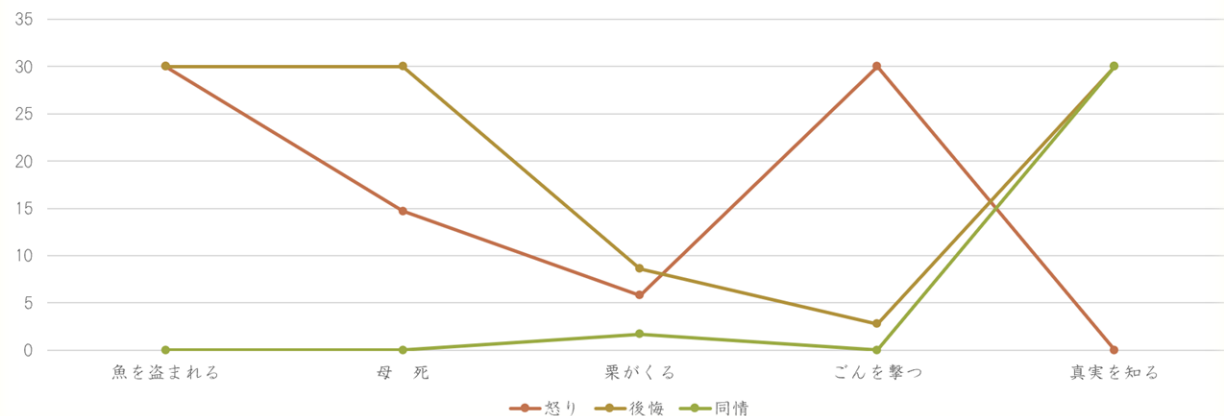






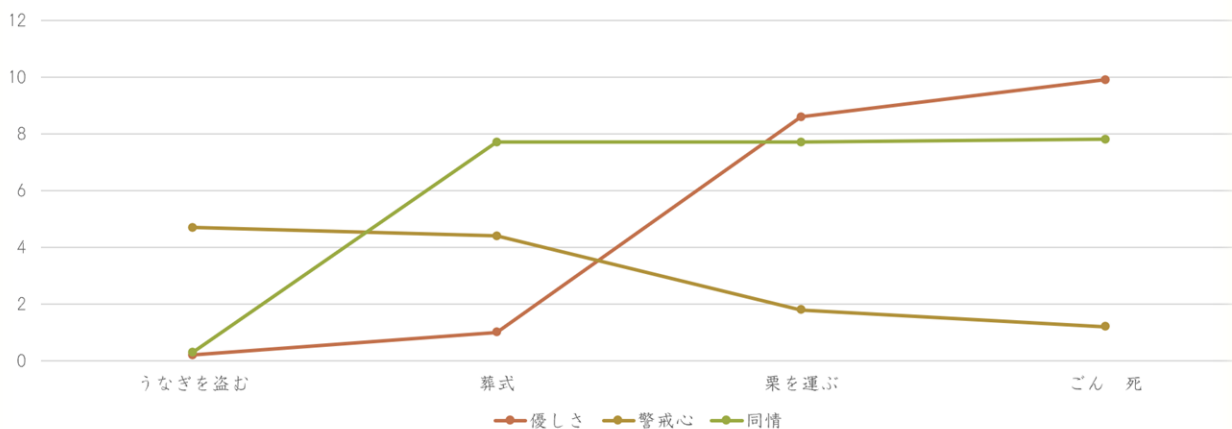
## 兵十 ごんへの気持ちの変化グラフ

兵十 ごんへの気持ちの変化



## ごん 兵十への気持ちの変化グラフ

ごん 気持ちの変化



## はじまりはじまり～

兵十はごんを家に入れ、精いっぱいの手当てをしてやりました。しかし、もう手遅れでした。

「ごーーん！」

兵十はごんにすがりつき、おいおいと泣きました。そして、命の恩人をきちんと埋葬しようと思いました。まずはじめに、加助の家を訪ねました。

「兵十かい？おや、そのキツネはどうした」

「ごんぎつねさ。おまえに話した栗の話、あれはごんがとってきてくれたんだ」

すると、加助は口をあぐり、目を大きく見開いて首を横に振りしました。

「そんなわけが…ごんぎつねはこの村一番のイタズラギツネだぞ」

「事実なんだ！頼む、ごんをこの家に埋めさせてくれないか？」

加助は兵十を悪魔のような目つきでにらむと、「拒否する。さあ、帰った帰った」と追い払ってしまいました。ごんは村人から嫌われていたので、当たり前な反応です。

兵十は次に、弥助の家に行きました。

「兵十ではないか。そのキツネはどうしたんだい」

「ごんぎつねなんだよ。撃ち殺してしまったんだ」

すると、弥助は顔をぱあっと輝かせて、兵十の肩をつかみました。

「やったじゃないか兵十！これで作物が荒らされることもなくなるぞ！よくやった！」

弥助の家もハズレです。貧乏な兵十には、もう頼れる人がいませんでした。

このごんぎつねで文章の中でこの文章があってここの文章があるからこうなんじゃないかなどで見つけてきた。今までの物語よりゴンの心境が分かりずらくゴンはなぜこうしたなど文と文をつなげて深く読み込まないとわかりづらい物語でもゴンはやっと自分が反省した気持ちになりやとゴンの根が体の外に行きわたったと思う兵十はイタズラされて次は家に来たと思えばそれは打つと思うでも少し見ていたとしたらゴンの印象にとっては一人だけでも変わったと思う。でもこのお話を書いた新美南吉さんは幼少期のころ家庭環境がうまくいっておらずその苦しさが誰にもわかってもらえなかったからこの苦しさを読者に伝えたいという思いで最後悲劇的？な終わり方になった。新美さんが一番伝えたかったことはこの辛さなどをみんなに知ってほしかったんだと思うこの物語で新しく見つけた学び方はクラウドに書いてある疑問と振り返り。この疑問はなぜどこからなどを話し合い暇がないような学び方を見つけた。じぶんが大体知ってからみんなの振り返りを見て話すと面白い学び方になると思うから物語ではなく違う教科でも使ってみると面白くなるからこの学び方も自分の中でいい学びになりそうだと思った。もう一度ごんぎつねのことに戻るとゴンは一人ぼっちで遊び相手がいなかったからただつかかってほしいだけ。ただその思いが届かず遊んでほしいがイタズラに変わってしまった。だからゴンはイタズラをやろうとしてやっていないゴンはイタズラが嫌われてると知らずにやってしまったイワシやに殴られたのがきっかけで反省という気持ちが大きくなりやっていたが周りの印象が変わらず撃たれてしまった。

自分が一番疑問に思ったこと

最後のページはなぜ兵十目線なのか

考えたこと

兵十はイタズラの復讐という感じの目線が最後のページに入ったから最後は兵十目線になっていたと考えている。

私は今まで、物語文で「話の続きを書いてみる」ということに挑んだことがなく、疑問を解決したり段落別にまとめたりするだけで終わっていたことが多かったと思います。けれど、ごんぎつねを十時間（十一時間）やって、振り返ってみると、話の創作に五時間も費やしていました。今回の物語文「ごんぎつね」では、話の創作を通して、改めて兵十の人物像を見直してみたり、兵十がごんを撃った理由などを友達と考えてみたり、新たな疑問にたどり着くことができた、ということをしていました。また、私はたいいてい物語文では感じた疑問を解決していて、いつもは疑問を三つくらいしか見つけて解決できていなかったものが、今回は疑問を六つ見つけて、なおかつそれをすべて解決することができていました。また、いつもは一つの疑問を複数人で解決するということはしていなかったが、今回は、疑問④のイワシ売り事件について田中さんと一緒に深く読み進めて解決することができたと思っています。

しかし、ハトにコメントで返されたときは思わず納得したりしてしまったことが多々ありました。なので、私は「叙述」が足りなかったと思っています。読みも浅かったかもしれませんが。なぜなら兵十の性格について語ったときに、相手が自分の見ていない視点で兵十の性格についてまとめていたので、私は物語全体を見てはおらず、一部分でしか読み取っていませんでした。しかし、この反省点に気づけたのはよかったです。次回はこの反省を生かしてより深くより正確にまとめていきたいと思う。

【ごんぎつね 振り返り】

この11時間は無駄なく学べた気がします。  
この物語で振り返りが成長した気がします。  
やることを決めてそれにそって学んで  
やったこと・考えたことをクラウドに書く  
ってことが前はできなかったからこそ、その  
振り返りを通して、学びが深まったんじゃないかなって思います。ただ学んでいるだけじゃ  
楽しくないし、かといって遊んでるだけじゃ  
学びにもならないから、今回は、学びながら  
自分が考えたことをほかの人と共有したり  
疑問をたくさん見つけて教科書からもとに  
なる文章を探したりと楽しかったです。  
でも、最後のほうは少しやるのが少なくなって  
来たりしたけどみんなの疑問とかが沢山あって  
それをやったりやるのが少なくなることは  
ほかにはなかったです。  
でも今回やってダメだったなって思うことは  
やっぱり本当にそうなのかとか、物語から  
離れてしまったりとか、根拠がないまま  
次も学びにうつってしまったとか自分のには  
ダメだったなって思いました。だからこそ  
この振り返りを通して説明文・物語を次に  
やるときには、今回できなかったことを  
できるようにしていきたいです。